

令和5年4月14日
国土交通省関東地方整備局
東京港湾事務所

令和5年度 東京港湾事務所の事業概要について

国際コンテナ戦略港湾である京浜港の一翼を担う東京港において、コンテナターミナルの能力不足の解消、基幹航路におけるコンテナ船の大型化や交通量の増加に対応し、円滑な物流を確保するため、中央防波堤地区と有明側を結ぶ臨港道路（南北線）および中央防波堤外側地区に水深16mの耐震強化岸壁を有するコンテナターミナルを整備しています。

詳細：別紙のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、
東京都庁記者クラブ、物流専門紙

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所

電話：03-5534-1362（工務課） メールアドレス：info-t83ab@mlit.go.jp

副所長 小林 茂則（こばやし しげのり）

工務課長 一場 武洋（いちば たけひろ）

東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業

令和5年度事業費:29.7億円
【東京都】直轄

事業の概要

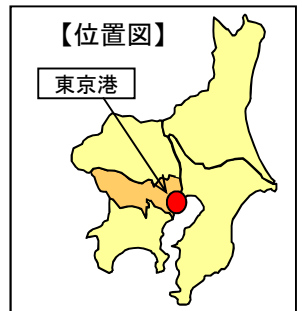
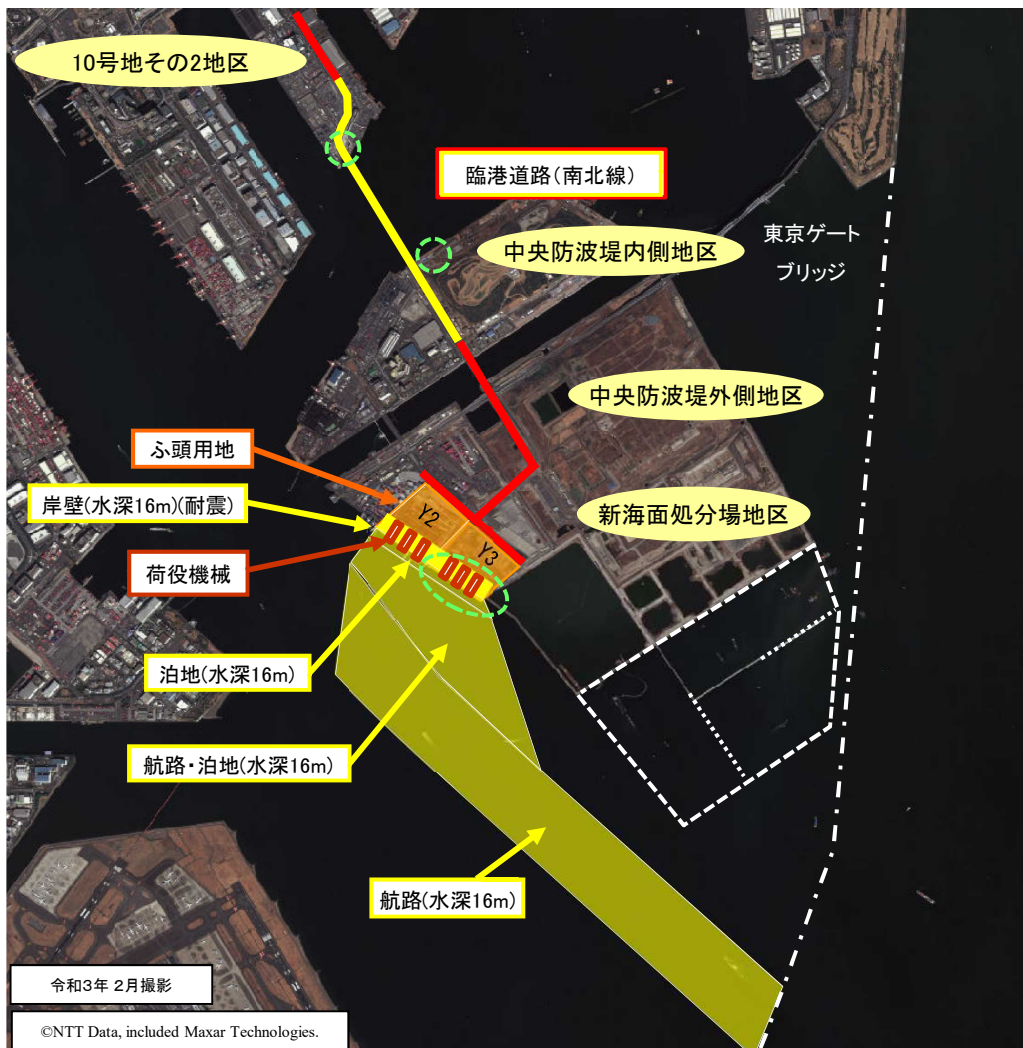
国際コンテナ戦略港湾である京浜港の一翼を担う東京港において、コンテナターミナルの能力不足の解消、基幹航路におけるコンテナ船の大型化や交通量の増加に対応し、円滑な物流を確保するため、中央防波堤地区と有明側を結ぶ臨港道路(南北線)および中央防波堤外側地区に水深16mの耐震強化岸壁を有するコンテナターミナルを整備しています。

令和5年度予定

- 岸壁(水深16m)の地盤改良工、撤去工、被覆工、泊地(水深16m)等の浚渫工を実施する予定です。
- 臨港道路(南北線)の舗装復旧工等を実施する予定です。

事業の効果

- 東京港におけるコンテナ取扱能力の向上が図られます。
- 既存コンテナターミナル(大井地区)の渋滞解消が図られます。
- 大型コンテナ船による効率的な輸送が可能となり、物流コストの低減が図られます。
- 耐震化により、震災時においても物流機能が維持されます。
- 東京港のふ頭間交通の円滑化、および東京港と背後圏のアクセスが向上します。
- 都市機能の集中している臨海副都心(お台場)に流入していた都市交通と港湾物流交通の分散が図られ、臨海副都心の交通混雑・沿道環境が改善されます。



【位置図】
東京港

(供用状況)
・臨港道路(南北線)は、名称を「東京港海の森トンネル」とし、R2.6供用開始
・Y2コンテナターミナルは、R2.3供用開始
(現在Y3コンテナターミナル整備中)

凡例	
■ (Yellow)	直轄
■ (Red)	補助
■ (Orange)	起債
■ (Brown)	貸付
○ (Green dashed)	令和5年度直轄予定

令和3年2月撮影

©NTT Data, included Maxar Technologies.